



あおぎり

校長 板見 剛
副校長 高比良尚 (編集)

◆始業式「校長式辞」◆

今年度は、コロナ禍で停滞していた様々な行事やイベントが行われ、日本全体が大いに盛り上がった夏でした。しかし、例年に比べて大変気温の高い日が続いたことや、台風の影響による雨風の被害もあり、心配の絶えない夏でもありました。

そのような中、本校生徒が関わるたくさんの行事が行われ、「大きな舞台」または「初めての舞台」で経験を積んだ生徒の皆さんがいました。この夏休みは、皆さんにとって有意義な時間となったでしょうか？

さて、一学期終業式では「努力すれば達成できそうな「身近な目標」をまず一つ立ててみる」ということを皆さんに伝えました。どうでしょう、自分の目標を持って、この場へきていますか？

まだ持っていない人は、一つでも二つでも良いので、必ず、**目標を立てて、実行に移してください。**

二学期は修学旅行や合唱コンクールをはじめ、大きな行事があります。3年生にとっては、進路を決定する大切な時期です。今から少しずつ暑さが和らぎ、勉強に、スポーツに、文化芸術に、気持ちよく取り組める季節になります。**目標を持って、その達成のために没頭すること**を、この二学期に味わってください。

二学期の始まりにあたり、皆さんにぜひ取り組んでほしいことをもう一つお願いします。昨年度もお願いしたことですが、「**お互いにあいさつを交わし、声をかけ、励ましあってほしい**」ということです。

特に、感謝の言葉をしっかりと伝えることのできる人になってください。感謝の言葉をかけてもらうと、自分がやっていることがみんなの役に立っているという自信に繋がっていくものです。この雰囲気は、連鎖を呼び、必ず自分にも返ってきます。あいさつにしても、人から声をかけてもらうということは、自分が一人ではないと感じることにつながります。

学校全体で言えば「最上級学年の3年生」、学級で言えば「係りの生徒」に大きな負担をかけながら、私たちは学校生活を行っています。ぜひ、お互いにあいさつを交わし、感謝の言葉で励ましあいながら、この二学期をのりきってほしいと思います。

◆ 始業式「学年代表決意の言葉」◆

校長式辞の後、各学年の代表（1年石橋さん、2年中山さん、3年杉本さん）と生徒会代表（2年江崎さん）が今学期の抱負、決意の言葉を述べました。その中で、3年生の杉本さんは、『3年生には、「授業中の態度や反応」、「先を見越した準備」、「計画的な行動」などにまだまだチャレンジしないといけない。最上級生として、受験生としてふさわしい姿や態度で二学期を過ごしていきたい。』と、今学期の決意を示しました。

各学年と生徒会代表の「決意の言葉」は学校ホームページ（t-nagayo.sakura.ne.jp/jh/nagayo/）に掲載しておりますので御覧いただきたいと思ひます。



※ 個人名を掲載しておりますので、取扱いには格別の御配慮をお願いいたします。

